

一関市社協

ふれあいネットワーク

# 藤沢支部だより

一関市社会福祉協議会藤沢支部  
ヘルパーセンター藤沢  
訪問入浴センター藤沢  
介護支援事業所藤沢

- 支部事務所  
藤沢町藤沢字町裏55  
☎0191-63-5122  
☎0191-63-2936(ヘルパーセンター)
- 発行  
令和元年12月

結婚50周年を盛大にお祝い



第23回藤沢町金婚を祝う会を11月22日（金）、カンブン会館において開催しました。令和に入って初めての金婚を祝う会には15組のご夫妻が参加されました。当日はちょうど「いい夫婦の日」にあたり、夫婦二人三脚で歩んできた50年の思い出話に花が咲きました。15組のご夫妻を代表して挨拶をした葛城行将様、トチ様ご夫妻は、「思い起こせばあっという間に過ぎた50年でした。2人で歩めば苦労も半分。支えてくれてありがとう。これからも体に気をつけて。また、皆さんと一緒に寝たきりになることなく元気に過ごして行きたい。」と話されました。（当日撮影したご夫妻の写真、集合写真はアルバムにして贈られます）

【この広報は、皆様からお寄せいただいたご寄付や、赤い羽根共同募金からの助成を受けて発行しています】



# 令和元年度に行った藤沢支部事業を紹介します

## 赤い羽根共同募金は事業費へ

皆さんからお寄せいただいた赤い羽根共同募金は、岩手県共同募金会を通じて、翌年度、実績に応じた額が藤沢支部にも事業費として配分されます。市の補助金や社会福祉協議会の会費、皆様方からお寄せいただいた寄附金と併せて予算化し福祉事業にあてられます。今年度になって実施した事業をご紹介します。



### ◆健康ふれあいウォーキングin黄海（7月14日）



第25回となる「健康ふれあいウォーキング」を黄海地区で開催しました。この事業は地域の方々の健康の増進と、地域の障害者との交流を目的として行いました。当日は約50人の参加があり、藤沢市民センター黄海分館から黄海小学校周辺を散策し、昼食では民生児童委員さんが作ってくれた豚汁をいただき、ビンゴゲームなどで楽しみました。

開催にあたって、地元の黄海地区住民自治協議会、藤沢町民生児童委員協議会の皆さんにご協力をいただきました。

### ◆福祉交流まつり（11月2日～3日）



福祉交流まつりは、令和元年度明日を築く藤沢地域産業福祉文化祭の福祉部門として開催しました。藤沢中学校生徒徒会と藤沢町民生児童委員協議会が協力してイベント募金に取り組み、会場に訪れた子供達へ赤い羽根風船を無料配布するなど地域の皆さんと交流しながら募金活動を行い、14,062円の募金が寄せられました。藤沢中学校生徒徒会から参加いただいたのは、佐藤尚さん、千葉蒼太さん、千葉茉衣華さん、菅原梨紗さん、新田亘先生でした。

各コーナーで参加してくれた団体は次の通りです。

イベント内容	参加団体
ステージコーナー	ふじっこエンジェル、ワークジョイかわさき
展示コーナー	光栄荘、ふじさわデイサービスセンター、グループホームやまばと、老健ふじさわ、デイサービスゆうゆう、デイサービスセンター白藤、グループホームひまわり畑、ふじの実各施設、上町地区いちご会、第8区だるまサロン、やまびこの会、徳田24区お茶っこ飲み会、33（サカサ）ティサロン、すみれの会（藤沢支所保健福祉課）
福祉施設等販売コーナー	ワークジョイかわさき、ちくちく工房、一関市身体障害者福祉協議会藤沢支部
赤い羽根共同募金コーナー	藤沢中学校生徒徒会、藤沢町民生児童委員協議会

## ◆第23回藤沢町金婚を祝う会（11月22日）



金婚を祝う会は、結婚から50年を迎えたご夫妻を地域で祝福し、今後とも健康で活躍されることを願って開催するものです。

参加いただいたご夫妻は、最初におふたりの記念写真を撮影していただき、次に参加ご夫妻全員による集合写真撮影、そして式典の部、祝宴の部と続きます。

当日撮影した写真は町内写真館の協力によりアルバムを作成し、福祉委員（区長）さんを通じてお届けいたします。式典の部では、工藤副会長から記念品目録と夫婦餅を近江育夫様、洋子様ご夫妻に代表受領していただきました。

## ◆ひとり暮らし高齢者の集い（11月25日）



ひとり暮らしをされている高齢者の皆さんの日頃感じている孤独感を解消したり、健康を増進する目的で集いを開催し、総勢26人の参加がありました。

今年は気仙沼大島大橋が開通したとのことで橋を見学し、気仙沼大島休暇村で昼食をいただいてきました。休暇村は予約が沢山入っているととのことで、この時期になってしまいましたが当日は比較的穏やかな天気でした。

帰りには気仙沼市内の「おさかなの駅」で買い物するなどし、楽しいひと時を過ごしてきました。

## 不自由になるって大変なんだ（高齢者疑似体験学習）

藤沢小学校4年生（36人）は、おじいちゃん、おばあちゃんの生活を理解する学習として11月27日、高齢者疑似体験学習を行いました。高齢者になると体のどこが不自由になってくるのかな。

- ・視力（見えるはんいがせまくなる）
- ・聴力（耳が聞こえにくい）
- ・手指感覚（ゆび先の感覚がうすくなる）
- ・関節（うでやひざが曲がりにくい）
- ・歩行（足があがりにくい）



3人ひと組になって体験用の装具を装着し体験する側、安全に誘導する側に分かれて廊下を歩いてみました。「不自由になるって大変なんだと思った。おじいちゃんおばあちゃんに優しくしたい。」などの感想が寄せられました。

# まごころ寄附

◆令和元年6月1日～令和元年11月30日受付分◆

「地域福祉に役立ててください」と次の方々からご寄附をいただきました。心から御礼を申し上げます。

・佐々木 勝 政	様 (黄海字上曲田)	100,000円
・佐 藤 千 晴	様 (藤沢字柳平)	50,000円
・千 葉 廣 二	様 (黄海字本沢)	100,000円
・一文字 美 咲	様 (気仙沼市磯後沢)	30,000円
・本郷ピザ同好会	様 (小山健一様)	5,000円
・伊 藤 正 晴	様 (新沼字大洞)	100,000円
・三 浦 洋 悦	様 (徳田字揚戸)	6,980円
・千 葉 昭 三	様 (黄海字京堂)	50,000円
・藤沢YOSAKOI炎武	様 (千葉幸子様)	35,000円



吉田支部長へ寄附金を手渡す「藤沢YOSAKOI炎武」の(左から)吉田江美子様、千葉幸子様、畠山澄子様。



9月1日に縄文ホールで行われたチャリティショーより、座長の一文字美咲様からご寄附をいただきました。

## ライフヘルプサービスをご利用ください

(ボランティアの協力で高齢者や障害者の生活を応援)

ボランティアさんの協力により、高齢者世帯の方やひとり暮らし障がい者の方の通院介添や理髪外出など、介護保険サービスに無いメニューだったり、困っているのに介護度がついていない方など、日常生活を送る上で困っていることを応援する事業です。(利用料：1単位3時間以内1,500円)

### ●利用の仕方

①利用会員登録



②サービス利用の申込(依頼日、時間、場所、サービス提供内容などを決めます)



③ボランティアさんの都合確認、調整(ボランティアさんの都合を伺って調整します)



④サービスの決定(ご連絡します)



⑤サービス提供



⑥利用料の支払い

※どうぞご相談ください。

